

I 大学入試センター試験を課さない推薦入試

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注)
柏原	学校教育 教員養成課程	中等教育専攻	技術教育コース	4人
			美術・書道教育コース【美術分野】	3人
	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	9人
		スポーツ科学専攻		20人
教育学部合計				36人

(注) 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

2 出願資格及び要件

課程・専攻・コース	出願資格及び要件												
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者</p> <p>① 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者(ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中に含めることができる。)</p> <p>② 高等専門学校第3学年を平成31年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) (1)①の者であって、調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.2以上の者</p> <p>(1)②の者であって、必須科目に未履修単位がなく、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値(小数点第2位を四捨五入)が2.4以上の者</p> $\frac{\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\}}{\text{総履修単位数}}$ <p>ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>秀</th> <th>優</th> <th>良</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評点</td> <td>100~90点</td> <td>89~80点</td> <td>79~70点</td> <td>69~60点</td> <td>59~0点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 将来、中学校・高等学校において技術教育に携わる教員を強く志望する者</p> <p>(4) 技術に関する高い興味と適性を備え、技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者</p>	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59~0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59~0点								

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 美術（デザイン・工芸を含む。）の専門学科に在籍する者で、調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上の者 B 上記以外の学科に在籍する者で、調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ芸術（音楽、書道を除く。）の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 美術教育への深い関心と高い実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の美術の教員を強く志望する者</p>
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（作曲・声楽・器楽）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。） B 高等学校在籍中に作曲、声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管弦楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者 [出願資格に関わるコンクールについては、25頁を参照すること。]</p> <p>ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、テューバ、パーカッション</p> <p>(3) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上の者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻	出願資格及び要件
教育協働学科 スポーツ科学専攻	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は各種目につき1校2名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体又は個人種目において全国ベスト16以上の者又は団体種目において全国選抜若しくは全国優秀選手に選ばれた者 [出願資格に関わる大会については、27頁を参照すること。]</p> <p style="text-align: center;">陸上競技、バスケットボール、サッカー、バレーボール、 硬式テニス、体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳）</p> <p>(3) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>(4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、競技スポーツ選手の指導者を希望する者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

平成30年11月1日（木）から平成30年11月6日（火）まで（11月6日必着）

(2) 出願方法

大阪教育大学では平成31年度入試より、出願方法が「インターネット出願（インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する方法）」に変わりました。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続きが必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

- A インターネットによる出願登録
- B 入学検定料等（支払手数料含む）の支払い
- C 出願に必要な書類等の郵送での提出

【出願受付期間】

A インターネット出願登録期間	平成30年11月1日（木）9時～平成30年11月6日（火）12時（日本時間）
B 入学検定料等の支払期間	平成30年11月1日（木）9時～平成30年11月6日（火）12時（日本時間）
C 出願書類の郵送受付期間	平成30年11月1日（木）～平成30年11月6日（火）必着

この期間中に、インターネット出願登録と入学検定料等の支払いを完了し、なおかつ必要書類等が本学に到着していなければなりません。

必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間を過ぎたものは受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。ただし出願受付期間後に到着した場合でも11月3日（土）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。また、出願受付期間最終日の11月6日（火）のみ、9時から17時まで、大阪教育大学入試課（柏原キャンパスC1棟1階）への持参を認めます。

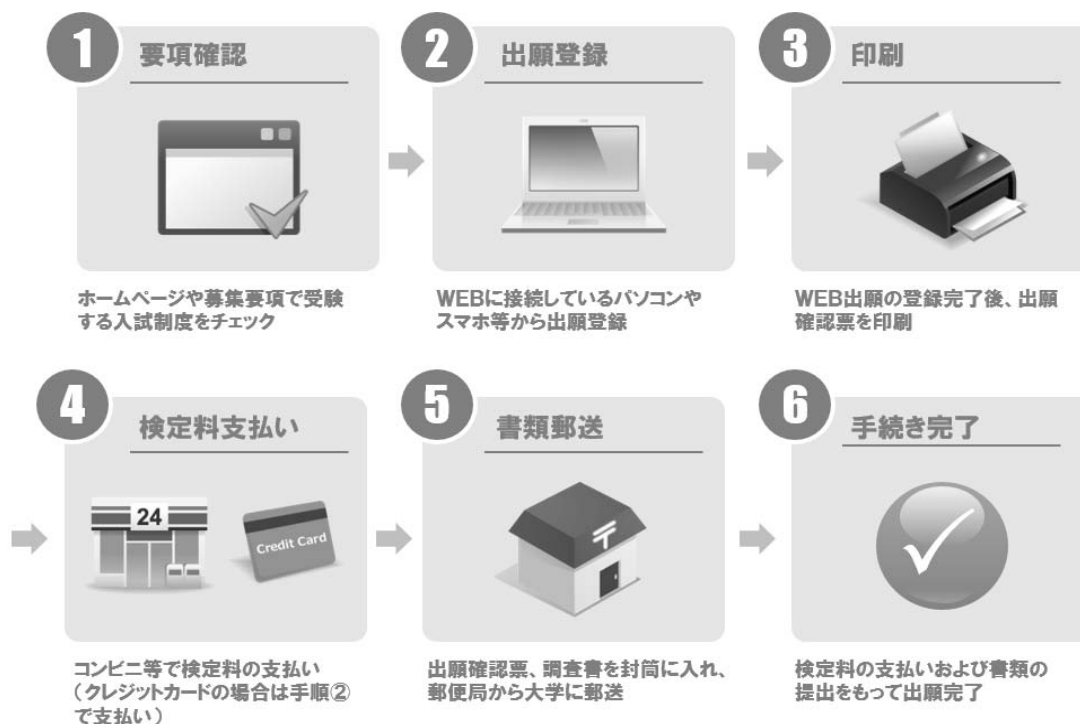
インターネット環境がない等の理由で、「A インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。

大阪教育大学入試課：072-978-3324（入試課直通）

※出願登録期間中、入試課窓口を設置する出願用パソコン・プリンタを利用することができます。

利用可能期間：出願登録期間中の平日（9：00～17：00、ただし6日は9：00～12：00）

【出願の流れ】



(3) 出願手順（インターネット出願）

大阪教育大学 入学試験 インターネット出願登録ページ

<https://sak-sak.net/app/oku>

※本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。

前頁のインターネット出願登録ページへアクセスし、重要事項が記載されている「**利用案内**」「**出願手順**」「**Q&A**」を必ず確認した上で、出願手続きを行ってください。

【登録前に準備するもの】

インターネット出願は登録中であっても、30分間何の処理も行わなかった場合は、データが消去されてしまいますので、ご注意ください。

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校等のパソコン等から出願してください。なお、大阪教育大学入試課にインターネット出願用のパソコンを設置しています。
印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。白黒印刷でもかまいません。自宅にプリンタ等がない場合は、学校等のプリンタ等から出力してください。なお、大阪教育大学入試課にインターネット出願用のプリンタを設置しています。
メールアドレス	日常的に確認しやすいもの。出願登録時に必要となります。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。
写真	2枚（同一）必要です。カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm x 横3cm、3か月以内に撮影したもの。
出願に必要な書類	志望する専攻、コース等により必要書類が異なります。必ず提出期間内に間に合うように郵送してください。
封筒	必要書類送付のために市販の角2封筒（24cm x 33.2cm）をご用意ください。
JAPAN e-Portfolioへの学びのデータの登録	学びのデータを「高大接続ポータルサイト JAPAN e-Portfolio」の登録を通じて提出する場合は18頁（7）を参照に学びのデータを登録してください。利用されていない方は、何もする必要はありません。

【インターネット出願登録受付期間】

平成30年11月1日（木）9時00分～平成30年11月6日（火）12時00分（日本時間）

【登録方法】

- ① アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）及び個人情報の取り扱いについて同意したうえで、「出願開始」ボタンをクリックしてください。
- ② 画面の指示に従って、「志願票選択」、「試験選択」、「志願先選択」画面で受験する区分、専攻、コース等を選択してください。なお、志望する専攻・コース等によっては「志願先付属情報」の入力を求められますので、必要に応じて入力してください。
注) 実技試験を選択する者で、曲名等を登録して申請する必要がある者は、「志願先付属情報」で入力してください。
- ③ 画面の指示に従って「科目選択」で実技科目の選択、または「科目確認」で受験する科目の確認、「試験場確認」を行ってください。
- ④ 「試験選択」「選択中試験内容」を確認して、間違いがなければ「次へ」をクリックしてください。
- ⑤ 画面の指示に従って、志願者の個人情報を入力してください。メールの受信確認は出来る限り行ってください。

※Japan e-Portfolioと連携させる場合は、JeP個人情報取得ボタンから画面の指示に従ってください。

- ⑥ 画面の指示に従って、「志願者情報入力確認」で訂正がないか、確認してください。出願登録完了後の登録内容の変更は出来ませんので、登録した内容を十分に確認してください。
- ⑦ 出願確認票の印刷

A4サイズの白の用紙に印刷（カラー推奨・白黒可）してください。

- ⑧ 入学検定料等の支払い

次のいずれかの方法で支払い手続きを行ってください。出願確認票（本人控）に記載された支払期限までにお支払いください。

- a クレジットカード、ネットバンキング
画面に従って、支払い手続きを行ってください。
- b 指定のコンビニエンスストア及びPay-easy（ペイジー）取扱い金融機関のATM

- i 支払方法を選択し、表示される受付番号等（※）をメモするか、画面を印刷してください。
※支払いのための受付番号等は、出願受付番号とは別の番号です。
- ii 受付番号等を使用し、コンビニエンスストア、金融機関で支払い手続きを行ってください。
詳細はインターネット出願登録ページの「ご利用方法について」でご確認ください。

⑨必要書類等の郵送

必要書類等を書留速達により郵送してください。

【出願書類の郵送受付期間】

平成30年11月1日（木）～平成30年11月6日（火）（必着）

郵送受付期間後に到着した場合でも、11月3日（土）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。（郵便事情を考慮して、早めに送付してください。）なお、郵送受付期間最終日の11月6日（火）のみ、9時から17時まで、大阪教育大学入試課（柏原キャンパスC1棟1階）への持参を認めます。

注意 インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を郵送（必着）する必要があります。

郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

（４）入学検定料等の支払い方法

①入学検定料等 17,372円（入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代372円）。

入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料（450円）がかかります。

②支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
〔 クレジットカード VISA,MasterCard 〕	◆入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
〔 ネットバンキング ジャパンネット銀行、ゆうちょ銀行 楽天銀行、じぶん銀行等 〕	
〔 コンビニエンスストア ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 セイコーマート、セブンイレブン、サークルKサンクス、 デイリーヤマザキ 〕	◆各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願ページ内の「コンビニでのお支払い」をご確認ください。 ◆支払い後、決済データの反映に数時間かかります。 ◆領収書のコピーを提出用書類に貼付してください
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	◆取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。 ◆明細書のコピーを提出用書類に貼付してください。

【入学検定料等の支払い受付期間】

平成30年11月1日（木）9時00分～平成30年11月6日（火）12時00分（日本時間）

③注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は58頁6の場合を除き返還できません。

東日本大震災（平成23年3月11日）及び熊本地震（平成28年4月14日）により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下の本学ウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html

(5) 出願書類等

	書類等	提出該当者	摘要
インターネット出願登録内容の印刷物	① 出願確認票 (書類確認票を含む)	全員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。コンビニエンスストアやPay-easy(ペイジー)を利用可能なATMで入学検定料等を支払った場合は、領収書(明細票)のコピーを所定の位置に貼り付けてください。
	② 写真票	全員	写真は2枚(同一)が必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に印刷し、所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 宛名ラベル	全員	出願登録完了画面からA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑤から⑧は本学ウェブページから印刷してください)	④ 調査書	全員	出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、11頁の出願資格(1)の②に該当する場合は、成績証明書も必ず提出してください。
	⑤ 推薦書	全員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 競技成績に関する証明書 ※	スポーツ科学専攻 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合 の公式記録あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑦ 演奏能力・創作力に関する証明書	音楽表現コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの なお、12頁の出願資格(2)のA及びBに該当する場合は、両方とも記入してください。また、出願資格(2)のBで出願する場合は、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①コンクール名、年度、団体もしくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②団体においては、出願資格を満たしたコンクールにおいて個人の出場が客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑧ 志望理由書	全員	本学所定の様式に志願者が自筆で400字程度で作成してください。ただし、スポーツ科学専攻は600字程度、美術・書道教育コースは800字程度で作成してください。
	⑨ 英語能力測定試験に関する証明書 ※ 高等学校入学以降に受検した試験のみ有効とします。	スポーツ科学専攻 志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBTなどの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、18頁～20頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。なお、 コピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出してください。 提出していただいた証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。
	⑩ 伴奏用楽譜	音楽表現コース 志望者のみ	声楽に必要な伴奏用楽譜は、B4判とし志願者氏名を明記してください。23頁を参照。

※⑥「競技成績に関する証明書」、⑨「英語能力測定試験に関する証明書」については、「JAPAN e-Portfolio」で学びのデータとして登録し、インターネット出願ページを経由して提出する事が出来ます。提出方法については18頁『(7) JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について』を確認してください。

(6) 英語能力測定試験の成績利用

スポーツ科学専攻では、実用英語技能検定、TOEFL iBTなどの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、得点の合計点が個別学力検査等の配点等の満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

(ア) 英語能力測定試験の得点加算

得点加算できる英語能力測定試験の等級又はスコアは次のとおりです。

なお、利用できる英語能力測定試験は高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

得点加算	実用英語技能 検定（英検）	TOEFL iBT	IELTS*	TOEIC (LR)	GTEC CBT
50点	準1級以上	80以上	5.5以上	785以上	1200以上
30点	2級	60以上	4.5以上	550以上	1000以上
20点	準2級	55以上	3.5以上	400以上	720以上
10点	3級	40以上	3.0以上	365以上	620以上

* IELTSはアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

(イ) 英語能力測定試験の提出書類

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、得点加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。（英語能力測定試験の成績証明書などを出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC (LR)	TOEIC Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC CBT	GTEC CBT Score Report

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

(7) JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について

本学では、文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業（主体性等分野）に参画し、多面的・総合的評価の実現をめざしています。当該事業で開発された高大接続ポータルサイト「JAPAN e-Portfolio」を通じて学びのデータの提出を行うことが出来ます。提出いただいたデータは、以下の目的で利用させていただきます。

■利用目的

i 入学者選抜に係るデータとして利用（主体性評価として利用）

スポーツ科学専攻の志願者のみ、入学者選抜に係るデータとして利用します。

ii 参考・参照利用（今後の入学者選抜改革に向けて参考にします。）

スポーツ科学専攻の志願者以外については、入学者選抜に利用せず、参考・参照資料としてのみ利用します。可否には一切影響しませんので、提出にご協力いただける方は、任意での提出をお願いします。

iに該当する方で、JAPAN e-Portfolioを利用していない方は、証明書等を紙で提出していただくこととなりますので、17頁⑥⑨を参考に本学所定の様式等を他の出願書類と共に提出してください。

※詳細につきましては、<https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.html>をご覧ください。

1. 学びのデータの登録方法

- ① 出願にあたって、競技実績、活動実績、資格・検定等を事前に「JAPAN e-Portfolio」(<https://jep.jp>)へ入力しておく必要があります。
※既に利用している場合は、以下⑥～⑦の手順を確認し、漏れが無いか確認してください。
- ② 「JAPAN e-Portfolio」を利用するためのIDは、高等学校教員から発行してもらってください。
- ③ IDが交付されたのち、「JAPAN e-Portfolio」にてパスワードの設定を含む初回登録を行うと利用で

きるようになります。

- ④ ID・パスワードを使用してログインし、最初にプロフィールの登録を行ってください。
- ⑤ トップ画面の「学びのデータを登録」から該当する項目を選択し、画面の指示に従って基本情報を登録してください。
- ⑥ 基本情報登録後「学びのデータを追加」を選択し、学びのカテゴリについて該当する競技実績、活動実績、資格・検定等をすべて入力してください。
※ 学びのデータ入力に際しては、必ず競技実績、活動実績を証明する賞状、証明書や文書、写真、大会公式記録、合格証等の添付、または、各種実績等が確認できるウェブサイトの URL を記入してください。
- ⑦ 「学びのデータ」の各項目のうち、特に出願時必須項目については必ず入力を行うとともに、承認必須項目について高等学校の教員（顧問等）の承認を受けてください。なお、学外での活動実績については、⑤で「学校以外の活動」を選択した上で、成績入力後に活動証明書を印刷メニューで印刷し、学外の指導者の証明を受けたものを、スマートフォン等で画像にし、学びのデータに添付してください。

2. 学びのデータを主体性評価の利用のために提出する場合

☆ 競技成績に関すること

- ① 「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ② 「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
- ③ 「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ④ 「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「センター試験を課さない推薦入試」と入力してください。
- ⑤ 「大学提出用データ作成画面」で「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し、「大学提出用データ選択画面」にて表示された学びのデータから、「大会・試合の結果」「代表への選抜履歴」「段位の取得等」「ベスト記録・通算記録」「役職の履歴」「雑誌新聞等の記事」を選択してください。

選択時には、選択の誤りが無いよう、画面に表示されている学びのカテゴリのコードが、以下記載のコードと合っているか確認してください。

※部活動については下記表を参考に選択してください。

コード	項目	注意事項
D100	基本情報	
D101	大会・試合の結果	3つまで選択可
D102	代表への選抜履歴	該当する場合選択
D103	段位の取得等	該当する場合選択
D104	ベスト記録・通算記録	該当する場合選択
D105	役職の履歴	該当する場合選択
D106	雑誌新聞等の記事	該当する場合選択

※学校以外の活動については下記表を参考に選択してください。

コード	項目	注意事項
E100	基本情報	
E101	大会・試合の結果	3つまで選択可
E102	代表への選抜履歴	該当する場合選択
E103	段位の取得等	該当する場合選択
E104	ベスト記録・通算記録	該当する場合選択
E105	役職の履歴	該当する場合選択
E106	雑誌新聞等の記事	該当する場合選択

- ⑥ 続けて英語能力測定試験を提出する場合は、次頁の「☆ 英語能力測定試験に関すること」の⑤を

行ってください。

- ⑦ 「大学提出用データ作成画面」で「大学指定情報を入力する」を選択し、「大学指定情報登録画面」にて「出願先大学からの入力指定」で「入力指定あり」を選択、「テキスト入力指定」にチェックを入れ、タイトル欄に「身長・体重」、内容欄に「身長：●●センチメートル、体重：●●キログラム」と入力してください。
※●●はご自身の値を入力下さい
- ⑧ 「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し、入力・確認した上で間違いが無ければ、登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後、作成を完了してください。

☆ 英語能力測定試験に関すること

- ① 「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ② 「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
- ③ 「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ④ 「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「センター試験を課さない推薦入試」と入力してください。
- ⑤ 「大学提出用データ作成画面」で、「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し、「大学提出用データ選択画面」にて表示された学びのデータから、「資格・検定」を選択してください。
選択時には、選択の誤りが無いよう、画面に表示されている学びのカテゴリのコードが、「H001 資格・検定」となっているか確認してください。
- ⑥ 「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し、入力・確認した上で間違いが無ければ、登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後、作成を完了してください。

3. 学びのデータの参考・参照データとして提出する場合（任意提出）

- ① 「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ② 「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ③ 「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「参考情報」と入力してください。
- ④ 「大学提出用データ作成画面」で「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択してください。
- ⑤ 「大学提出用データ選択画面」で、「学びのデータ」から、提出してよいものを選択してください。
（この際、提出を控えたいデータは外すことができます。提出を控えたいデータがある場合はチェックを外してください。）

(8) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、平成30年10月10日（水）までに入試課へ相談してください。

【TEL：072-978-3324 受付時間：平日9：00～17：00】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

【問い合わせ先 障がい学生修学支援ルーム（072-978-3479）
受付時間：平日9：00～17：00】

(9) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項（JAPAN e-Portfolioも含まれます。）が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日

平成30年11月17日(土)

ただし、学校教育教員養成課程中等教育専攻美術・書道教育コース【美術分野】及び教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースは、11月17日(土)及び11月18日(日)

(2) 検査科目・時間等

課程・学科・専攻・コース	検査時間		
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	小論文 面接		10:00～11:30 13:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	実技 小論文 面接	(11/17) (11/18) (11/18)	10:00～13:00 10:00～11:00 11:30～
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	小論文 実技・面接 実技・面接	(11/17) (11/17) (11/18)	10:00～11:00 11:30～ 10:00～
教育協働学科 スポーツ科学専攻	小論文 実技・面接		10:00～11:00 11:30～

※ 志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・学科・専攻・コース	選抜方法
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	大学入試センター試験を免除し、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)、小論文及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	大学入試センター試験を免除し、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	大学入試センター試験を免除し、出願書類(学校長が作成した調査書、推薦書及び演奏能力・創作力に関する証明書、志望理由書)、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。(演奏能力・創作力に関する証明書には、演奏能力・創作力に関する所見又はコンクール等における受賞歴・演奏歴を記載。)
教育協働学科 スポーツ科学専攻	大学入試センター試験を免除し、出願書類(学校長が作成した調査書、推薦書及び競技成績に関する証明書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。

※総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

- (4) 平成31年度大学入試センター試験を課さない推薦入試の実施科目等について
センター試験を課さない推薦入試で、大阪教育大学が実施する個別学力検査等は次のとおりです。
なお、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

課程・学科・専攻・コース	検査科目	個別学力検査等の配点等					合計
		小論文	実技	面接	証明書	志望理由書	
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	小論文 面接	250		250			500
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	小論文 実技 面接	100	200	100		100	500
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	小論文 実技 面接	100	200	100	100 ※1		500
教育協働学科 スポーツ科学専攻	小論文 実技 面接	100	200	100	100 ※2		500

※1 は演奏能力・創作力に関する証明書

※2 は競技成績に関する証明書

(5) 小論文の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	課題に対する理解力や洞察力、論述における論理の構成力や表現力などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	文章表現をとおして、思考力・表現力・美術教育に関する理解力と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された課題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成力や文章表現能力等も含め総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	音楽と社会との関わりについての理解と認識をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された問題への関心度・理解度をみるとともに、論旨の明確さ、文章表現能力等も含め総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成力や文章表現能力等も含め総合的に採点・評価する。

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース

鉛筆による静物デッサン

(注) 鉛筆, 消しゴムは各自持参すること。
(カルトン, 画用紙は本学で準備する。)

教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース

作曲

ア 与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。(制作時間 2 時間)
イ 与えられたテーマ又はモチーフに基づいて, ピアノ曲を作る。(制作時間 2 時間)
(注) ア, イともに試験中の楽器の使用は認めない。

声楽



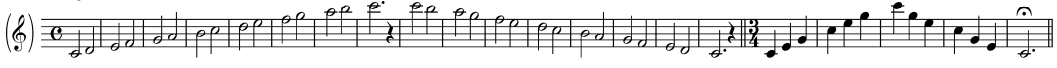
自由曲 2 曲

(注) 1 歌詞は原語とし, 暗譜で歌うこと。
2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。
3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。
4 伴奏用楽譜(歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの)を提出すること。ただし, 1 ページの大きさは B 5 判(縦 257 mm×横 182 mm)とし, 志願者氏名を明記の上, 出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。
5 伴奏者は本学で配置する。

器楽

自由曲については, 楽器名・作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
ピ ア ノ	ア, イの順に暗譜で演奏し, 繰り返しは省略すること。使用する楽譜の版は指定をしない。 ア 次の 3 曲より任意の 1 曲 L. v. Beethoven : Sonate 第16番 G-dur Op. 31 Nr. 1 第 1 楽章 第17番 d-moll Op. 31 Nr. 2 第 1 楽章 第18番 Es-dur Op. 31 Nr. 3 第 1 楽章 イ 自由曲 下記の作曲者の作品より任意の 1 曲 (ソナタの場合は 1 つの楽章) 1) R. Schumann 2) F. Liszt 3) F. Chopin 4) J. Brahms 5) F. Mendelssohn
ヴァイオリン	下記のア, イを暗譜で演奏する。ただし, 無伴奏とする。 ア Carl Flesch : Scale SystemよりC-dur No. 5の冒頭の12小節 (テンポは ♩ =100~120) No. 6, 7, 8の冒頭の 4 小節 (テンポは ♩ =40~50) イ 自由曲 1 曲
ヴィオラ	下記のア, イを暗譜で演奏する。ただし, 無伴奏とする。 ア Carl Flesch : Scale SystemよりC-dur No. 5の冒頭の12小節 (テンポは ♩ =100~120) (注) ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。 イ 自由曲 1 曲

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
チ ェ ロ	<p>下記のア、イを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。</p> <p>ア J.Loeb : Gammes et arpèges pour violoncelle (Billaudot版) により、 3オクターブの音階と分散和音 (C, D, Es, E-dur の中から当日指定) 音階は、テンポ ♩ =60以上 スラーは  の形で演奏する。 分散和音は、テンポ、フィンガリングともに自由 スラーは  の形で演奏する。</p> <p>イ 自由曲 1曲</p>
コントラバス	<p>下記のア、イを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。</p> <p>ア シャープ又はフラットが3個までの調号を持つ長調又は短調のうちから、 2オクターブの音階 (調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の 両方を演奏する。テンポ、フィンガリング、スラーは自由)</p> <p>イ 自由曲 1曲 (注) 楽器貸出し可能</p>
フルート オーボエ クラリネット ファゴット	<p>下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p>ア 長調の音階、半音階及び主和音の分散和音 (調及びアーティキュレーション は当日指定)</p> <p>イ 自由曲 1曲</p>
ホルン トランペット トロンボーン バス・トロンボーン テューバ	<p>下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p>ア 次の譜例により、長調の音階2オクターブ及び分散和音 (調は当日指定)</p> <p>M.M.♩=88 Listesso tempo</p>  <p>イ 自由曲 1曲</p>
パーカッション	<p>下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p>ア 小太鼓の基本奏法 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち (緩→急→緩 等, 当日指定), ロール (<, >, < > 等, 当日指定)</p> <p>イ 小太鼓, マリンバのいずれかを用了自由曲 1曲 (注) マリンバ (5オクターブ半), 小太鼓, スタンド, バチ置きは貸出し可能</p>

出願資格に関わるコンクール名一覧

作曲

コンクール	対象
朝日作曲賞（合唱曲作曲部門・吹奏楽曲作曲部門）	入賞及び入選者

声乐

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
全日本合唱コンクール全国大会	出場資格を得た者
NHK全国学校音楽コンクール全国大会	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール	

器楽

◎ピアノ

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者

◎弦楽器・管打楽器

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
全日本吹奏楽コンクール全国大会	出場資格を得た者
全日本アンサンブルコンテスト全国大会	

※ 本年度の推薦入試出願資格に関わるコンクールについては、原則として一覧に掲載されたものに限定します。ただし、参加コンクールと同一種目（志願する専門）で受験してください。

学科・専攻	実施内容及び留意事項
<p>教育協働学科 スポーツ科学専攻</p>	<p>下記 1)～10)の競技種目の中から選択した1種目について、運動技能に関する実技検査を行う。 なお、実技検査で使用するウェア、シューズ、防具類等の個人用具は、すべて各自が持参すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 陸上競技 出願した当該種目について、試合形式で記録測定を行う。 2) バスケットボール <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2. 2対1または3対2 3. 速攻 4. ゲーム 3) サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 <フィールドプレーヤー> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボールコントロール 2. 各種シュート（ドリブルシュート、センタリングシュート） 3. ゲーム（11対11） <ゴールキーパー> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゴールキーピング（フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入っている。） 2. キャッチング、ポジショニング、セービング、キックの各技能 4) バレーボール <ol style="list-style-type: none"> 1. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 2. 対人レシーブ 3. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 4. ゲーム 5) 硬式テニス ゲーム（シングルス） 6) 体操競技 男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 7) ダンス <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 8) 柔道 <ol style="list-style-type: none"> 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 9) 剣道 <ol style="list-style-type: none"> 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 10) 水泳競技（競泳） 出願した当該種目について、試合形式で記録測定を行う。

出 願 資 格 に 関 わ る 大 会 名 一 覧

種 目 名	大 会 名 等
陸 上 競 技 <リレー種目は除く>	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校陸上競技選抜大会 ◇日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会
バスケットボール	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
サ ッ カ ー	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校サッカー選手権大会 ◇高円宮杯U-18サッカーリーグ・プレミアリーグ ※2 ◇日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会 ◇Jユースカップ ◇全日本高等学校女子サッカー選手権大会 ◇全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会
バ レ ー ボ ー ル	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全日本バレーボール高等学校選手権大会
硬 式 テ ニ ス	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国選抜高校テニス大会 ◇全日本ジュニアテニス選手権 ◇全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会 ◇ITFジュニアテニス大会（グレード2以上）
体 操 競 技	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校体操競技選抜大会 ◇全日本ジュニア体操競技選手権大会
ダ ン ス	◇全日本高校・大学ダンスフェスティバル ◇洋舞コンクール（各地区）
柔 道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校柔道選手権大会 ◇金鷲旗高校柔道大会 ◇全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
剣 道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校剣道選抜大会 ◇玉竜旗高校剣道大会 ◇全国都道府県対抗剣道優勝大会 ◇全国都道府県対抗女子剣道優勝大会
水 泳 競 技（競 泳） <リレー種目は除く>	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 ◇全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会

※1 上記のほか、全日本選手権大会（同等の大会を含む。）あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は出願に先立ち、10月15日(月)までに入試課へ問い合わせてください。

※2 高円宮杯U-18サッカーリーグ・プレミアリーグに関しては、今年度9節終了時点で東・西各ブロック、8位まで出願可とします。

(6) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	実施内容	採点・評価基準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	鉛筆による静物デッサン	対象把握する力，構成力，表現力などを総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	作曲，声楽，器楽から一つを選択	創作能力・演奏技術及び音楽性について審査し，総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	選択した1種目についての， 運動技能に関する検査	種目固有の運動技能を体力・技術・戦術等の視点から総合的に採点・評価する。

(7) 面接（口述試験を含む）の内容及び採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	内容	採点・評価基準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	将来，技術分野の教員となるのにふさわしい資質と，技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる。くわえて，数学・理科（数学Ⅰ，数学Ⅱ，物理基礎の範囲）に関する小問をその場で課し，口頭で回答を求める。	技術分野の教員への意欲，技術や技術教育に関する知識・理解・関心・意欲・適性および面接時における話の要点や論理性などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	将来，美術の教員となるのにふさわしい資質と美術教育に関する知識・関心・理解度をみる。	美術の教員への意欲，美術教育に関する知識・関心・理解・適性，面接時の対応や話の論理性などを総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	芸術，特に音楽と社会との関わりについての理解と関心度をみる。	質問内容に関する知識，理解力，表現力及び意欲を総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度をみる。	スポーツへの興味・関心・知識・意欲等を総合的に採点・評価する。

5 入学前教育について【美術・書道教育コースのみ】

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コースの合格者には，入学前の学習支援として，本学が実施する個別の入学準備課題等に取り組んでいただきます。
詳細については，合格者発表後にお知らせします。